

第2回大崎圏域宿泊事業者部会

【日時】令和7年9月3日（水）午後2時から午後3時15分まで

【場所】大崎市鳴子公民館 ホール

【委員からの主な意見】

1. 宿泊税活用施策案について

（1）施策1 戦略的な観光地域づくり

（委員1）

- 宿泊税活用の施策案については、かなり踏み込んだ内容で、宿泊税という税金を活用するには大変大きな展開になると思う。
- それとは別に、違法民泊についても宿泊税の予算を使い、厳しく取り締まる方向へ持っていきえるようお願いしたい。

（委員2）

- 観光コンテンツを県全体でやると、全体に目が行き届きにくい場合があり、圏域や地元との意見交換をしっかりともらいたい。

（2）施策2 周遊性向上のための二次交通対策

（委員2）

- 二次交通の部分では、観光客以外にも、普段の生活でJRやバスを使う地元住民もいるので、地元住民の声も吸い上げてもらいたい。

（委員3）

- 資料に昨年からはまったライドシェアについての記載がないのは、何か理由があるのか。陸羽東線の鳴子温泉～新庄間が不通だったため、大変多くの客に迷惑をかけた。こういったものを補強してもらえると良い。

（委員4）

- 二次交通の優先順位は高いと考える。旅の形態が変化する中で、自家用車やレンタカー以外の選択肢を作らないと、個人旅行客は誘致できない。ほとんど車で県内を旅行する人が多いのが実態。
- 最寄り駅から宿泊施設までのラストワンマイルの二次交通がなんとかなれば、インバウンドを含めた個人客に来てもらう手段ができる。
- 土日の公共交通の運行や、広域の公共交通の連携は難しい中で、もっと簡単な方法として、デマンドタクシーやEVより「トゥクトゥク」のような乗って楽しい乗り物に補助する考えもある。6～8人の客を宿泊施設まで送迎し、2往復ぐらいするだけでもラストワンマイルの問題が解決するのではないかな。

（委員5）

- 陸羽東線は1時間に1本とはいっても、実際の時刻表は、古川から鳴子温泉に着く電車が午後1時に着くと、次がまるまる2時間空くので、チェックイン時間前に観光する時間帯に電車がいないのが現状となっている。
- チェックアウト後に川渡温泉から鳴子温泉に行き、もう少し過ごしてから帰るという客に

とって、8時の次は10時、そこから飛んで12時と、まるまる2時間電車がなく、帰るしかないという状況になりがちで、二次交通として陸羽東線の合間に代替交通手段があるのもっと地域を回れるのではないかな。

(3) 施策3 快適な旅行環境のための受入環境整備

(委員5)

- 前回、観光ガイド育成の方にもお金をかけてもらいたいという話をしたが、スタートアップの際の研修はガイドの付加価値が高く取れ、その人もプロとしてやっていけるということだが、ボランティア的に安くやっている人との差別化も必要になってくる。
- 「こういう研修を受けている人がいる」ことを客や旅行会社に伝え、安全に案内できるというPRをすることも必要ではないかな。

(4) 施策4 効果的なプロモーションの展開

意見なし

2. 圏域での施策活用イメージ

(1) 施策1 戦略的な観光地域づくり

(委員2)

- 資料のとおり、春と6、7、8月ぐらいがやはり暇な時期になっており、平均的に底上げを図る必要があると思う。

(委員4)

- 1月、2月は県全体も含めて訪問客が少ないいうところに注目すると、冬のコンテンツの磨き上げも何か考えた方が良さそう。
- 冬に稲刈りの終わった広大な田んぼが、何でもできるスペースとしてはあり、何か使い勝手があるのではないかな。星空観測も2月ぐらいが一番きれいに見えるという、そういうナイトコンテンツも作れるのではないかな。

(委員5)

- 資料の川渡温泉の桜並木は真ん中に橋があり、この橋に色がついていけば、桜並木と橋だけじゃない、景観がもっと良くなるのではないかなと思っている。
- 街灯も普通の街灯なので、ガス灯のような少し観光地的なおしゃれなものに変えるだけで景観がだいぶ良くなると思うし、ちょうど4月、5月の時期に観光客誘致につながるようなスポットが、鳴子にもさらに整備できると考える。

(委員6)

- 県全体のことで大崎圏域のことが、非常にまとまって作られていて何も言うことがない。
- 宿泊税予算は潤沢ではないと想定しているので、尖らせたものに集中的に使い、予算が足りなければ次年度に持ち越すなど、無理に使い切らなくても良いと考える。

(委員1)

- エリアにより強い時期と弱い時期があるのは仕方がないので、強い時期を伸ばすことも含

め、あまり気にしないでもよいと思う。

- 紅葉も鳴子峡だけではなく、鬼首の紅葉とかダムの紅葉とか、鳴子にスポットはたくさんある。

(2) 施策2 周遊性向上のための二次交通対策

(委員2)

- 観光客にとって、陸羽東線で来るメリットがない。鳴子温泉駅を起点の周遊でタクシー等を利用しようとした時に、やはり車で行った方が良くとなり、どんどん悪い循環になっている部分がある。
- 元々、鳴子温泉観光案内所でレンタサイクルも実施してはいたが、人手の問題や、自転車の設置とか、様々な手間もあり、今も実施してはいるが、それを強化することは、すごく優先度が高いと思う。
- やはり大事なところは二次交通対策の部分での車関連、移動手段の強化ではないかと思う。

(委員7)

- 鬼首はさらに特殊で、客がほぼ車しか利用しない。宿泊でバスという客もいるが、昼間に温泉街などを周遊するとなると、特にバスの本数が少なく、正直バスで来られても、滞在時間が長すぎて困る。鬼首の場合はレンタカーや車しかない。
- 周遊バスなどがあれば良いが、今のところは現実的ではないとも思うし、費用もかかり、簡単にできることではない。鬼首は、やはりレンタカーがもう少しあれば良いのではないか。あとは、できれば鳴子全体を周遊できるバスが少しでもあれば良い。
- 市営バスは、午前と午後3便ぐらいで、本数は少ない。最近初めて知ったが、7年前に鬼首に来た若い方で地域の活動をしている人は、バスのヘビーユーザーだという。生活するとなれば大変なので、やはり観光客だけではなく、生活する住民の足として一緒に考えられるようなものがあれば良いと思う。

(委員1)

- 鳴子の紅葉は11月10日ぐらいまでで、その後に客が来ても見るところがないため、潟沼を勧めているが、12月から4月まで道路閉鎖するので、11月下旬から12月上旬、スキー場開きまでの間の空白の部分を、少しでも潟沼に車で行けるようにしてもらえるとありがたい。

(委員8)

- 陸羽東線の復旧工事は2年と聞いており、その期間にJRのダイヤを工夫してもらいたい。観光にも地元の人にも利用できる時間帯がない。午前8時台の上り列車は早すぎるので、9時台から10時台に1本、上りの電車が増えれば、宿泊客の帰りには都合が良い。
- 3年、4年くらい前から中山平でレンタサイクルの窓口になり貸し出しているが、JRで9時に来て2時間使い11時に帰るというパターンが増え、鳴子温泉駅で乗り捨てできないかと尋ねられる。
- レンタサイクルのバッテリーを充電し、貸出時間までの準備、返却後の維持管理など、手間がかかる。ただ、二次交通、三次交通がないため、非常に喜ばれていると思うので、台数を増やしてもらえば良い。